



2012年 4月26日

みなさん、こんにちは。平山郁夫画伯の3回忌にあわせて開催している春季特別展。毎日、盛況です。

### ● 瀬戸内の風景 - 『平山郁夫展』 作品解説 -

開催中の春季特別展、『平山郁夫展』。

15日(日)には平山郁夫美術館学芸員の別府一道さんの作品解説がありました。

今回の展覧会では、平山郁夫美術館から多くの作品をお借りしていますので、所蔵館の方ならではの詳細なお話を聞くことができました。100名を越える方が参加され、当館の職員も記録写真を撮影するのに四苦八苦…。

2回目、22日(日)の作品解説は、当館学芸員が担当。平山作品の特徴や作品のみどころ、そしてお客さまからよくご質問をいただくポイントについて、解説を行いました。

平山画伯は線を大切にされたそうですが、とくに右下の写真の作品では線があまり見えません。その秘密についても解説の中では明かされ、お客様は納得した様子で耳を傾けていました。

この作品《天かける白い橋》に描かれているのは、広島県の尾道市と愛媛県今治市をむすぶ、しまなみ海道の来島海峡大橋です。「こっちが四国？それとも広島？」と疑問に思われる方が多いのですが、解説によると手前が大島、橋の向こう側が今治で北から南を眺めた風景であるとのことでした。画伯は現地に行ってスケッチし、帰ってからスケッチをもとに作品を制作するため、描かれた風景がどこなのか、わかるものも多いようです。作品の背景や描かれた場所についてご興味のある方は、ぜひ残り2回の解説にご参加ください！当館学芸員による作品解説は、5月4日と12日の午後2時から行います。



15日の作品解説／中央に別府学芸員



《天かける白い橋》の前で／22日の様子

### ● ひょうご春展 士(サムライ)ラリー

今春開催している11の展覧会を対象にした、スタンプラリーを実施中です。

当館のスタンプは、「D」！3会場以上で秋の展覧会の招待券、全会場を集めれば旅行券に応募できます。参加館は、神戸市立博物館や兵庫県立美術館など。台紙は各会場で入手できますよ！

当館のスタンプは、2階ギャラリー入口右側にあります(→)。

